

熊本市復興だより

Hi.Go!!

さあ、行こう!!



作：村井健太郎氏

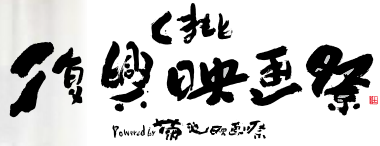
熊本市イメージキャラクター「ひごまる」。熊本地震を受けて、新たなデザイン「ひごまる復興バージョン」が誕生!手を前に大きく突き出したポーズは前向きさと明日(未来)へ向かう姿を表しています。ひごまるとともに「がんばろう!くまもと」



熊本市政策局復興総室

検索

映画の力で熊本を元気に!



震災後、「映画の力で熊本を元気に!」の合言葉でスタートした『くまもと復興映画祭 Powered by 菊池映画祭』。3回目となる今年は4月19日~21日に開催され、行定監督が選んだ10作品が上映されました。また豪華ゲストが熊本に駆けつけ撮影裏話を展開。このコーナーではお二人からのメッセージをお届けします。

行定 勲

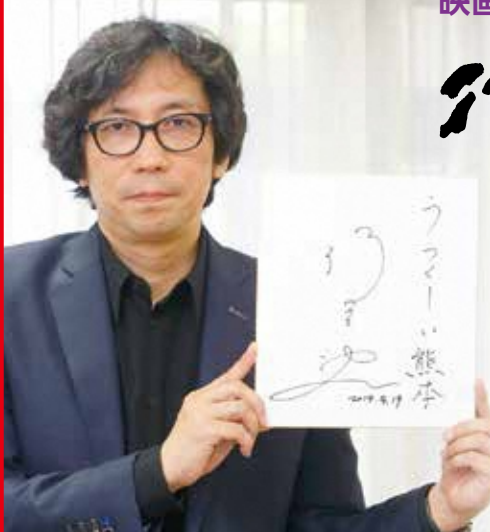
Isao Yukisada

1968年熊本出身。『ひまわり』で第5回釜山国際映画祭の国際批評家連盟賞、『GO』で第25回日本アカデミー賞最優秀監督賞を受賞。『世界の中心で、愛をさけぶ』『北の零年』など作品多数。『うつくしいひと』、『うつくしいひと サバ?』、地震当日を描いた『いちっぴんすかん』など熊本が舞台の映画も製作。

有村 架純

Kasumi Arimura

NHK連続テレビ小説『あまちゃん』で一躍注目され、映画『思い出のマーニー』、『ピリギヤル』、『3月のライオン』、など出演作品多数。第39回日本アカデミー賞優秀主演女優賞/新人俳優賞、2017年1月marie claire ASIA STAR AWARDS 2017「アジアスター賞」受賞。



オープニング作品に照屋年之(ガレッジセール・ゴリ)監督・脚本の『洗骨』を選んだ理由は?

熊本は震災後に大変な状況が続いていて、「それでも生きていかないと」って踏ん張っていますよね。この作品は、死があって、残された人たちの生きる姿に光を当てている作品です。温かく、身につまされるし、ユーモアもある。僕は映画を見て泣くことあまりないけど、最後にふと涙がこぼれてしまって(笑)。まさに今、熊本の人に観てほしい作品だと思い選びました。あとは若手監督のデビュー作を中心に全10作品選びました。デビュー作って、渾身の思いを込めてあり、愛、生き方、悲喜こもごもがある。それがみなさんに届くといいですね。

サイン入り色紙プレゼント

行定監督、有村さんのサイン入り色紙を、各1名様にプレゼントします。郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、市政だよりの感想、どちらの色紙を希望かを明記し、はがきまたはメールで広報課(住所、メールアドレスは表紙下部に記載)へご応募ください。(6月14日必着) ※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

撮影中にもかかわらず、映画祭への参加を決めた理由は?

行定監督から声をかけていただき嬉しくて、迷うことなく「行きます!」と返事をした直後に連続ドラマの撮影が決まって(笑)。「2日間はどうしても熊本に行きたいので撮影できません」ってお願いして、スケジュールを空けてもらいました。この映画祭はとてもアットホームな雰囲気です。「来てよかった~」って実感しています。

「復興映画祭」が果たす役割は?

当初は「いつになれば『復興』の文字が取れるかな?」とっていました。今は考えが変わって、ずっと「復興」の文字は残そうと思っています。前よりステキな熊本になったときに「何で復興ってついているの?」って思う世代が生まれてきますよね。その時に「大きな地震にあって、踏ん張って立て直して美しい街があるんだよ」って言えるようになりたい。前へ向かう力を後押しするような映画祭であり続けたいですね。



定期的に熊本に帰られますが、よく行く場所がありますか?

今まさに変わろうとしている熊本城や益城の風景を見て、その姿から創作意欲を掻き立てられることもあります。あと、阿蘇は実家がありますから、いつか自分の映画の中に納めたいですね。

行定監督とは映画『ナラタージュ』で一緒にいますがその時の印象は?

風の噂で、「監督は納得するまで何十テイクもやらせるし、朝まで撮るから大変」って聞いていたんです。でも実際は、スムーズに感情を切り取ってくださったので、「あれ? 私これで大丈夫!」って拍子抜け(笑)。私が演じたのは泉という名前の大学生で、高校時代の演劇部の顧問へ恋心を抱く複雑な役でしたが、監督と話し合いながら丁寧に役を作り上げることができました。映画の新しいジャンルを見つけたターニングポイントとなる作品になりましたから、皆さんにもぜひ観てほしいですね。



鹿児島・熊本が舞台の『かぞくいろ』の思い出は?

撮影スタート地点は熊本の八代駅だったんですけど、おれんじ鉄道の車窓から見る海がキレイでしたし、祖母が九州にいるので「帰ってきたな~」って懐かしさを覚えました。今回の映画祭では、震災後の逆境にいるからこそ生まれるみなさんの力強い姿を見て「自分はなに悩んでいたんだろう」って前に進む力をもらいました。またここに戻ってきます。

災害義援金の追加配分のお知らせ

平成28年熊本地震で被災された方への災害義援金の追加配分が決定しました。対象の世帯へは、4月に通知を発送していますので、通知内容の確認をお願いします。

(1)追加配分の内容

対象被害	全壊・解体	大規模半壊 半壊	申請について	振込日(※)
一律追加配分	57,000円	28,500円	不要 (自動振込)	平成31年(2019年) 4月25日
非課税世帯への配分	200,000円	100,000円	申請が必要	申請月の 翌月下旬以降

非課税世帯への配分の支給要件は4月にお送りした通知を確認ください。対象となる場合は、申請が必要です。

※振込先は、以前に義援金の振込みを行った口座になります。

(2)申請期限

令和2年(2020年)3月31日(火)まで

(3)お問い合わせ

災害義援金追加配分専用コールセンター ☎096-328-2991
[受付時間:月~金曜日の午前9時~午後5時(祝日除く)]

各区で「住まいの相談窓口」を開設します!

本市では仮設住宅などにお住まいの方が、1日も早く住まいの再建ができるよう、「伴走型」による住まいの支援を行っています。下記の日程で「住まいの相談窓口」を開設しますので、ぜひご相談ください。

■主な相談内容

- ・賃貸住宅を探したい
- ・中古住宅を購入したい
- ・土地の売却や利活用の相談 など

■相談日および場所 ※お住まいの区以外でも相談できます。

区	相談日	場所
中央区	6月 5日(水)	市役所 13階 伴走型住まい確保支援室
東区	6月18日(火)	東区役所 1階 ロビー
西区	6月17日(月)	西区役所 1階 103会議室
南区	6月12日(水)	南区役所 2階 B会議室
北区	6月 7日(金)	北区役所 3階 大会議室

■相談時間 午前9時~午後4時

- ※事前予約が必要です。下記までお問い合わせください。
- ※上記の相談日以外については、市役所13階「伴走型住まい確保支援室」で相談できます。

■お問い合わせ

ばんそうがた 伴走型住まい確保支援室 ☎096-328-2983
相談時間 月~金曜日(祝日除く)午前9時~午後5時